



【みなと隆介の近況】

先週もあちこちのスーパーや駅前での宣伝、つどいへの参加、ご挨拶まわりなど忙しく過ごしました。11月23日の夜、1人で西中島南方駅南口でチラシ配りをしていると、ある方からお声をかけて頂きました。「外国籍のパートナーがあなたのチラシを見て感動したと言っていましたよ」と。私のチラシでは、外国籍の方の生きづらさにも言及しています。外国籍の方々もこの大阪市淀川区とともに暮らす仲間ですから、当たり前のことだと思っっていますが、私の思いが伝わったようで、本当に嬉しい瞬間でした。

27日の万代新高店前の宣伝では「チラシが入っていますね。応援しています」のお声かけ。周りの方に広げるために日夜努力してくださっている皆様のおかげで、少しずつ「みなと隆介」の存在が知られてきていることを実感する瞬間でした。ご支援にあらためて感謝いたします。



東三国駅南口にて

みなと隆介の視点

今年も年末調整の時期がやってまいりましたが、年末調整の書類には「配偶者の有無」を記す欄があります。みなと隆介は、2004年8月以来18年3ヶ月間連れ添っている同性のパートナーとともに暮らしていますが、同性婚の仕組みがない日本では婚姻届が出せません(出しても受理されません)ので、「配偶者・



レインボーマフラー、Mさんから完成版を頂戴しました!

無」に〇を付けざるを得ません。なんだかおかしいな。と思う気持ちをツイッターで呟いたところ4000を超えて「いいね」が付きました。同じようなことをお考えの方が相当数いるのだなとあらためて感じました。

同時に、私は自らが姓を変えるのもパートナーに変えさせるのも嫌なので、選択的夫婦別姓制度の実現も強く望んでいます。誰もが自分らしく安心して生きることができるよう、来る2023年、政治の世界で力を発揮できるよう、引き続き全力で頑張ります。

ちなみに今週末より気温が一段と下がるようです。くれぐれもお気をつけいただき、ご自愛くださいませ。

みなと隆介の生い立ち⑦



2001年5月頃の日記帳です。中身は自分で見るのが恐ろしいです。

1998年1月から日記を書いています。きっかけは、和田アキ子さんがテレビ番組で「日記を書いている」とおっしゃっていたのを見たことでした。「和田アキ子もするな」といふものをみなと隆介もしてみむとするなり」と言ったところでしょうか。とはいえ、ここ数年「週記」酷い時は「月記」の場合もありますが...。大学生のころなどは、暇に任せてA4ノート1ページに渡って書き連ねたりしていました。

先ほど何気なく開いた2001年5月11日の日記には、宮崎市内のあちこちで日本共産党のポスターを見かけた、という記載がありました。昔からシンパシーを感じていた日本共産党ではありましたが、まさかこんな大役を仰せつかるとは、と我ながらびっくりです。そして子ども心にも大きな印象を残すほど、ポスターはやはり大事な存在なのです。というわけで、みなと隆介ポスターを貼ってくださいませ。どうかみなと隆介事務所までご連絡くださいませ。